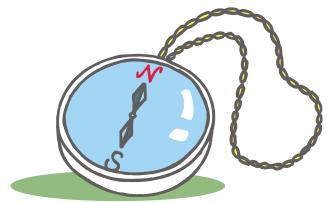


羅針盤



第 26 号

令和5年11月27日(月)

◆ 目標を達成するための4つの条件

先週は2学期の期末テストが行われましたが、これまでの学習の成果を発揮して、悔いの残らぬように試験に臨むことはできたでしょうか。結果を追い求めるために、自分自身の立てた目標を達成するためには4つの条件が必要であるといった考え方があるそうです。まず最初に、「スピード感を持ちながら取り組むということ」つまりは、事前の準備を怠ることなくまずは実行に移すということのようです。迅速に動いてみることで、自分にとって足りない部分が明らかとなって、素早く対応することが実現できるというわけです。次に、「明るさを持ち合わせているということ」些細な失敗にばかり目を向けるのではなく、常に次のステップに向けて顔をあげて取り組もうとする気持ちを持ち続けるということだそうです。3つ目には、「程良い緊張感を持っていること」気の緩みといったことが原因となり、思いもよらないところで自分自身の足がすくんでしまったというような事態を引き起こしてしまったといったことは、誰もが経験してきたことではないでしょうか。どれほど簡単にできると考えたことであったとしても、常に程良い緊張感を持ちながら取り組めたのか、それは平常心を忘れずに取り組むことの大切さを説いていることだと思います。当然のことながら平常心を保つためには、日頃からの準備を徹底することを忘れてはならないでしょう。そして、最後に、「貪欲に自分のものとしていくこと」自らの成長については自分勝手にゴール地点を決めてしまうとそれ以上の高みへと向かっていくことは難しいことであるはずです。もっと自分を成長させようといった追求心や向上心といったものを持つためには、自ら貪欲な姿勢を忘れないことが必要条件であるといったことを忘れてはいけないはずです。スピード感を持ちながら、明るさを忘れることなく、程良い緊張感を保ち、貪欲な姿勢を持っていることが、目標を達成するために必要な条件であることに気づき、十分な準備と努力の積み重ねを怠ることなく、自ら立てた目標が実現できるように自己研鑽を続けていくことのできる人であってほしいと思います。



◆ 立冬を過ぎて小雪を迎える季節は大雪へ

11月7日の立冬を過ぎて、早くも二十日が過ぎ去ろうとしています。暦のうえでは、すでに小雪を迎えており、木枯らしが吹く冬の訪れから、木立の葉が落ちて、山々には初雪が舞い始める季節へと変わってきています。今年も残すところ後1か月余りとなってきています。年の初めに立てた目標はどれほど実現できてきた

でしょうか。充実した学校生活を過ごしながら、自分自身が納得できるような成果をあげてくることはできたでしょうか。今日一日頑張ったから、明日は望んでいた結果が出るといった簡単なことは決してないはずです。人知れず努力を積み重ねてきた日々の結果として、自分自身が望んできた結果を得ることができるものであるはずです。だからこそ、達成感を得ることができ、成長した自分自身をみつけることへつながっていくはずです。季節の移ろいとともに、日々成長できる人であってほしいと思います。

